

廣岡 英一 議員

南海トラフ巨大地震対策は

問 県の第4次地震被害想定によつて、本市が作成中の地域防災計画等に大きな修正や課題になることは何か。

答 津波浸水区域や避難場所など、津波避難計画の見直しが必要になる。また、住宅等の耐震化の更なる推進、各家庭の備蓄品の確保などが課題となる。

問 原子力災害対策編は防災ではなく避難計画ではないか。

答 本編は、本市がUPZ区域になつたため義務付けられた計画で、万が一原子力災害が発生した場合の避難や屋内退避などの防災方針を示している。今後は、本編の策定を進めるとともに、浜岡原発の安全確保や再稼働の是非等に関する協議に参画できる体制を作っていきたい。

UPZ：原子力災害の緊急時防護措置を準備する区域。原子力施設から概ね5～30kmの範囲を示す。



台風の来襲で崩れた浅羽海岸の防潮堤

健康文化都市の 落とし所がつかめない

問 健康文化都市像を見える化するために、C-1戦略やブランド戦略を進めるべきでは。

答 健康文化都市を目指すことを市民により強く認識してもらうため、地域ごとに話し合つたり、有識者を含め様々な方から意見を伺つたりしながら、本市のC-1づくりを努めていきたい。

大庭 通嘉 議員

市長選挙公約

実現への取り組みを

問 中央図書館と施設内のことも未来館建設の進め方は。

答 学習の疑似体験ができることも未来館的機能を持たせた図書館建設を、移転新設や集約など多角的に検討する。

来年、学識経験者から成る（仮称）中央図書館構想策定委員会を立ち上げ、平成27年度の構想策定に向け取り組みたい。

問 高校野球の公式戦ができる野球場建設の進め方は。

答 建設時期、規模、場所等、平成28年度からスタートする新総合計画の策定に合わせ、市民やスポーツ審議会の意見をもとに、最適な整備方針について協議を進める。尚、球場内に災害時の物資の備蓄等、防災機能も含めて研究したい。

市内全域の

治水対策を望む

問 これまでの豪雨を教訓に、川井西地区をはじめ、市内全域の更なる治水対策を望むが。

答 浸水センサー等の設置で得られた観測データに基づき浸水常襲地区などの効果的な治水対策に努めたい。川井西地区の浸水対策については、排水ポンプの設定変更で対応したい。



袋井図書館の受付カウンター